

- 地域福祉計画案にご意見を.....2
- 放課後ルームの利用者を募集.....2
- 市職員の給与などを公表.....3
- 子ども記者通信.....4
- 情報ひろば.....5~7
- 京成本線上下り線の高架化が完成.....8

発行/船橋市 編集/市長公室広報課 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 ☎047-436-2111(代) 047-436-2769 ホームページ http://www.city.funabashi.chiba.jp/

市職員が支援のために現地へ



人とのつながりが精神的な支えに

川口町で健康調査に従事

健康増進課(保健師)藤ノ木 香さん

私の役割は被災者の健康調査でした。この地域の人たちは結束が強く、「あそこにはひとり暮らしのお年寄りがいる」といった情報が、町民の方たちから多く寄せられました。また、避難場所でも孤立している人は少なく、「家の下敷きになったおばあちゃんを近所の人たちで助け出した」という話も聞きました。震災によるストレスは大きいものの、こうした人と人とのつながりや助け合いが、精神的な支えとなっているのだと感じました。



船橋市消防隊員を含む緊急消防援助隊による長岡市妙見崖崩落現場での活動

日ごろの備えが大事ですね

川口町の避難所で看護活動に従事

医療センター(看護師)小林 美智子さん

私が従事した避難所は、ほとんどが高齢者でした。不眠症や、高血圧症を抱えながら我慢していた人も...。そうした人の表情を見逃さず、心のケアを受けてもらったり、薬を飲むように指導しました。地震が発生してから3日間は、避難所が開設されず、救援物資も届かなかったため、各家庭から食料を持ち寄り、野宿したそうです。日ごろの備えの大切さを実感しました。



川口町の旧木沢小学校で被災者の手当をする小林さん(左から2人目)

家の中ではタンスや冷蔵庫が散乱...

小千谷市と川口町で被災建築物の危険度を判定

建築指導課(建築技術)黒岩 三郎さん

被災した建物が、使用できるか否かを応急的に判定するのが私の任務でした。現地では至る所で崖崩れにより道路が寸断され、歩いて調査現場に行くことも...。ちょうど、調査初日には、震度6弱の余震も発生。半壊した家の前で途方に暮れるおばあちゃんの姿が忘れられません。建物の外観は、何となくとも、中では、タンスや冷蔵庫が散乱し、ブロック塀や、石積みなどの崩壊もひどかったです。雪の多い冬に向けて、被災者のために、一日も早い復興を願わずにはいられませんでした。



被災地の復旧にむけた市の様々な救援活動

市では、新潟県中越地震で被災した人々への義援金を受け付けています(下欄)。11月8日現在で、市民の皆さんから317万6734円が寄せられ、日本赤十字社を通じて被災地の復旧活動に役立てられます。



生活物資をトラックに積み込む

また市では、非常用食糧や毛布などの生活関連物資を10月26日に越路町へ届けたほか、次のような支援を行っています。緊急消防援助隊を派遣 市消防局職員18人を長岡市と小千谷市に派遣。救助・救急・警戒活動を行いました(10月27日~30日)。



危険な建物には赤い貼り紙を

建築技術者を派遣 被害にあった建築物の応急危険度を判定するため、市建設局から技術者4人を2人ずつ、2回に分けて派遣しました(10月27日・28日、11月1日・2日)。

看護師・保健師の派遣 看護活動のため市立医療センターの看護師6人を2人ずつ、3回に分けて川口町に派遣(10月29日~11月13日)。

また、健康および生活の実態調査のため、保健師12人を2人ずつ、6回に分けて、川口町に派遣します(10月28日~11月27日)。市営住宅の提供 市営住宅(18戸)を被災者に提供します。

家の中での安全を確保

「建物の外観はそうでもないけど、部屋の中がめっちゃくちゃになってるところが多かったですね」と、小千谷市、川口町に派遣された

れていた黒岩建築技術師。地震発生時には、戸棚や本棚から身を離れ、テーブルや机の下に身を隠し、まず身の安全を守ることが大切。また、家具などが転倒しないように固定しておくことなどの日ごろの備えも忘れず。

家族のために3日間の食糧や水の備蓄を

今回の地震でも、食糧や飲料水などの支援は早い時期に始まりましたが、救援物資が届くまでの間、3日間生活できるよう、食糧

者への対応にあたります。小千谷市55校の避難所では、医療器具や医薬品を備蓄している食糧や毛布などを用意し、避難してくる市民を受け入れます。

「自主防災組織」に、補助金を出したり、資機材を配付するなどの支援を行っています。また、まだ結成していない町会・自治会は、防災課へご相談ください。

市内114か所の避難所

市では、市立小学校55校など、114か所の避難所を設け、震度5強以上の地震が発生した場合、市の職員が各避難所に参集、市が備蓄している食糧や毛布などを用意し、避難してくる市民を受け入れます。

自主防災組織の結成を

川口町で、住民の健康調査にあたった藤ノ木保健師は、「隣近所が、日ごろから助け合っているの、いざというときに、その地域の方が発揮されたいですね」と話していました。

3日間の備えを

いつも浴槽やバケツなどに水をためておく。最低3日分の飲料水、食糧、燃料等を用意する。非常持ち出し品はばねやリュックに入れ、持ち出しやすい場所に置く。非常持ち出し品を定期的に点検する。

地震発生！に備えて防災対策を

10月23日に発生した新潟県中越地震。市でも、直ちに救援物資を送るとともに、保健師や看護師、建築技術師、消防隊員などを派遣し、被災地の皆さんの支援を続けています。今回は、これらの報告とあわせて家庭でできる防災対策を紹介いたします。もしもその時、被害を最小限にするためにも、日ごろからの備えを心がけてください。

防災課 ☎436-2032

わが家の防災チェックシート

- 家族で防災会議 避難する時、だれが何をもち出すか決めておく。家族の連絡方法や集合場所を確認しておく。避難場所まで家族そろって歩いて確認する。家の中でどこがいちばん安全か話し合っておく。
- 防火の備え 小さな地震でも、すぐにガス器具の栓を閉める。火を使う近くには燃えやすいものは置かない。使っていないアイロンやドライヤーなどは、コンセントからプラグを抜く。消火器の置き場所や使い方を家族全員が知っておく。また、消火剤が有効期限内か確認する。
- 家具の転倒防止 補強金具や支柱などで家具を確実に固定する。玄関やベランダなどに障害となるものは置かない。家具や棚の上に落下しやすいものは置かない。家具の開き戸には留め金具をつける。食器棚などのガラス戸には、ガラス飛散防止フィルムをはる。照明器具は落下しないように補強する。
- 3日間の備えを いつも浴槽やバケツなどに水をためておく。最低3日分の飲料水、食糧、燃料等を用意する。非常持ち出し品はばねやリュックに入れ、持ち出しやすい場所に置く。非常持ち出し品を定期的に点検する。

17年度放課後ルームの 利用者を募集します

1月31日(月)まで

⑧ 児童育成課 ☎436-2956



高郷放課後ルームにて

17年4月入所の申込みを受け付けます。先着順ではありません。現在利用している場合も、改めて申し込みが必要です。
〈対象〉保護者が、仕事や病気などで、放課後子どもの面倒が見られない家庭の小学1~3年生

☐ そのほかにも、理由により入所できる場合がありますのでお問い合わせください。4年生以上は、定員に空きのある場合は入所できます。

〈入所案内・申請書の配付場所〉児童育成課、各放課後ルーム・児童ホーム・出張所・連絡所、船橋駅前総合窓口センター
〈申込み方法〉11月15日(月)~17年1月31日(月)午前9時~午後5時に市役所3階児童育成課へ(土・日・祝・休)と年末年始を除く。障害がある児童の申込みは12月28日(火)まで
☐ 初めて申し込む場合は、子どもの健康状態などについてお聞きしますので、子どもの状態に詳しい人がお越しください。
〈入所の可否〉17年3月3日(木)以降に保護者あてに通知します。

放課後ルーム利用案内

〈開所日〉(月)~(土) (祝・休、年末年始は休み)
〈時間〉下校時~午後7時 学校が休みの日は午前8時~
〈料金〉月8000円 おやつ代別途2000円

放課後ルーム名	電話番号	放課後ルーム名	電話番号
市場(市場1-3-8)	425-2376	七林(七林町12841)	469-0792
大穴	465-2591	習志野台第一	466-3657
大穴北	456-1250	習志野台第二	461-1239
小栗原	047-335-8664	西海神	431-2226
海神	434-2539	二宮	474-4410
海神南	431-7841	飯山満	468-6590
葛飾	435-7739	飯山満南	421-1918
金杉	440-3283	二和	440-4777
金杉台	447-3350	船橋	422-0688
行田東	430-1917	法典	430-3378
行田西	439-3220	法典東	438-1955
小室(小室町3001)	457-9019	法典西	429-1147
古和釜	468-5691	(前貝塚町867-50)	429-1147
咲が丘	448-6026	前原	477-1513
芝山東	464-1591	丸山	430-1463
芝山西	461-2847	三咲	447-2061
高郷	466-4557	溝町	435-0674
高根	429-3405	南本町	437-4287
高根台第一 (高根台児童ホーム内)	466-3682	峰台	422-8139
高根台第二	469-4481	三山(三山3-32-21)	477-5198
高根台第三	469-0180	宮本	421-3170
高根東	464-2357	八木が谷	449-1419
田喜野井	464-4472	八木が谷北	447-2497
塚田(前貝塚町610-4)	430-5291	薬円台	461-2845
坪井	464-6711	薬円台南	464-6127
豊富	457-0722	八栄	421-1167
中野木	471-6734	若松	433-8125
夏見台	429-2318		

住所等の記載のないものは小学校内に設置しています

安心して暮らせる地域づくりを目指して...

地域福祉計画案にご意見を

市では、地域福祉の推進を図るため、今年度末を目標に「地域福祉計画」を策定中です。計画では、行政と地域住民が協働し、すべての市民が生涯を通して生き生きと、自分らしく、安心して暮らせる地域づくりを目指しています。多くの意見を計画に反映できるよう、皆さんの声をお寄せください。

希薄化する 近隣関係が明らかに

市では、14年度に計画策定のための市民アンケートを実施しました。

「隣近所とは、世間話やあいさつ程度、もしくはほとんど付き合はない」という人が57.9パーセントを占め、そのうち53.7パーセントが「助け合える人の柱を設定し、5年間で実施する様々な施策を掲げて」

4つの施策の柱を

このことから、計画案では、メインテーマを「コミュニティ」にシフトし、「心をつなぐ地域づくり」を軸として推進することを目指しています。また、広く市民の皆さんの声を聞くため、市内を5地区に分け、地区懇談会を開催してきました。ここで出された地域の課題や、その課題に対する提言や意見も、今回の計画案に反映しています。

「自助」「共助」「公助」による地域福祉の推進

「自助」とは、地域に住む一人ひとりが努力すること。また、広く市民の皆さんの声を聞くため、市内を5地区に分け、地区懇談会を開催してきました。ここで出された地域の課題や、その課題に対する提言や意見も、今回の計画案に反映しています。

「自助」「共助」「公助」による地域福祉の推進

「自助」とは、地域に住む一人ひとりが努力すること。また、広く市民の皆さんの声を聞くため、市内を5地区に分け、地区懇談会を開催してきました。ここで出された地域の課題や、その課題に対する提言や意見も、今回の計画案に反映しています。

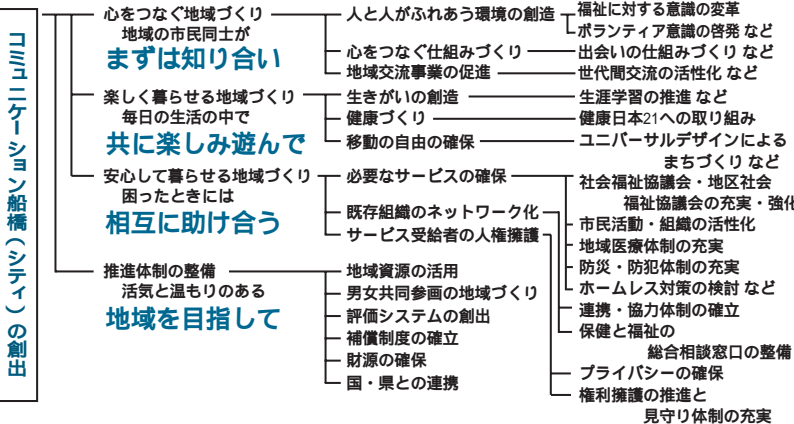
「自助」とは、地域に住む一人ひとりが努力すること。また、広く市民の皆さんの声を聞くため、市内を5地区に分け、地区懇談会を開催してきました。ここで出された地域の課題や、その課題に対する提言や意見も、今回の計画案に反映しています。

計画案を公開します

この計画案は、市役所3階地域福祉課・1階行政資料室と各出張所・図書館、船橋駅前総合窓口センター、23の地区社会福祉協議会で見られるほか、市のホームページ(<http://www.city.funabashi.chiba.jp/>)でも閲覧できます。皆さんのご意見をお寄せください。

問合せ

地域福祉課 ☎436-2314



「コミュニティ」の創出

- 心をつなぐ地域づくり
地域の市民同士が
まずは知り合い
- 楽しく暮らせる地域づくり
毎日の生活の中で
共に楽しみ遊んで
- 安心して暮らせる地域づくり
困ったときには
相互に助け合う
- 推進体制の整備
活気と温もりのある
地域を目指して

- 人と人がふれあう環境の創造
- 心をつなぐ仕組みづくり
- 地域交流事業の促進
- 生きがいの創造
- 健康づくり
- 移動の自由の確保
- 必要なサービスの確保
- 既存組織のネットワーク化
- サービス受給者の人権擁護
- 地域資源の活用
- 男女共同参画の地域づくり
- 評価システムの創出
- 補償制度の確立
- 財源の確保
- 国・県との連携
- 福祉に対する意識の変革
- ボランティア意識の啓発など
- 出合いの仕組みづくりなど
- 世代間交流の活性化など
- 生涯学習の推進など
- 健康日本21への取り組み
- ユニバーサルデザインによるまちづくりなど
- 社会福祉協議会・地区社会福祉協議会の充実・強化
- 市民活動・組織の活性化
- 地域医療体制の充実
- 防災・防犯体制の充実
- ホームレス対策の検討など
- 連携・協力体制の確立
- 保健と福祉の
- 総合相談窓口の整備
- プライバシーの確保
- 権利擁護の推進と見守り体制の充実



この日は市民一人ひとりが主役となってまちのこみを一掃します。皆さんの参加をお願いします。

11月21日(月)は船橋をきれいにする日

〈日時〉11月21日(月)午前9時~11時 荒天中止
〈会場・方法〉中央会場 天沼弁天池公園/ごみを拾いながら各方面の集積所へ
地区会場 各小学校/各家庭に配布したごみ袋などに、道ばた等のごみを集めながら自宅から最寄りの小学校へ
〈問合せ〉各町会・自治会役員または各町会・自治会推進課 ☎436-2434

八木が谷地区市政懇談会 市長と語ろう

⑧ 市民の声を聞く課 ☎436-2784

第22回市政懇談会が10月30日、八木が谷公民館で開催され、地域から53人の皆さんが参加しました。市長は、藤代孝七市長をはじめ13人が出席して、八木が谷地区の問題を中心に話し合いました。討議の主な内容は次のとおりです。
震源のおそれがある活断層が船橋にはあるのか
市阪神・淡路大震災をうけて、平成9年に県が、中山競馬場付近から千葉市の検見川に至る地殻を調査したが、活断層はないとの報告を受けている。

高齢者支援協力バスの年齢制限をなくして
市交通手段を持たない高齢者への対策として、自動車教習所や老人福祉センターのバスを活用して行っている。現行の65歳以上を対象とするので理解願いたい。
防犯関連の条例制定は市民が安心して暮らせる地域づくりには市民警察、行政が連携する必要がある。そこで、全体的な組織である市民防犯推進協議会の設置を検討している。条例は、その協議会の中で議論して策定していきたい。
介護施設で、昼食が冷たいなどの苦情にはどう対応しているのか
市昨年10月から、介護保険施設の一部に介護相談員を派遣し、利用者からの相談や苦情に対応している。そのほか、介護保険課や市内24か所の在宅介護支援センターでも対応している。

写真がとらえたホットなニュース

ふおっとニュース



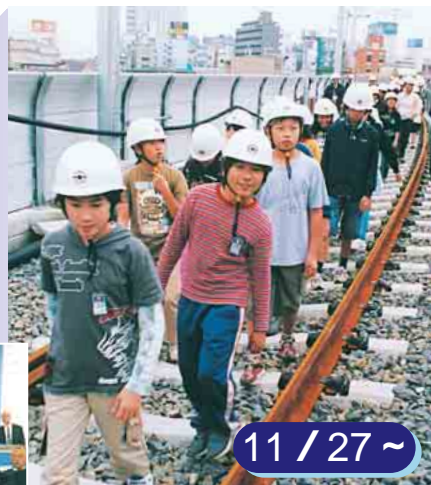
地域防災体制の担い手 10月23日に船橋オートレース場の駐車場で消防団のポンプ操作大会が行われました。消防機械器具の操作技術の向上と、日ごろの訓練成果の発表を目的に毎年行われているもので、今年は精鋭の23チームが技を競い合いました。迅速な行動はもとより、土気、規律、チームワーク、安全などの各項目で一人ひとりが採点され、チームの合計点で順位が決定。真剣に取り組む消防団員たちの姿に、応援に訪れた各チームの家族や地元の皆さんから、惜しみない拍手が送られていました。



新鮮な野菜と魚貝類 11月7日に、中央卸売市場で農水産物が行われました。地元農水産物の即売をはじめ、ばか面踊り、牛乳早飲み大会などイベントが盛りだくさん。今年には台風の影響により野菜が高騰していますが、この日の値段は一般の半値近くと安く売られていました。また、会場には、新潟県中越地震の義援金募金箱が設けられ、10万3685円集まりました。ご協力ありがとうございました。ごとうございました。

会場のお客さんたちもふるまう藤代孝七市長

「めったに歩けないところを歩いてうれしい」。レールウォークに参加した、船橋小6年の風間美穂さんが笑顔で話してくれました。この日参加したのは、地元の町会・自治会や商店会の皆さん、船橋小の児童ら約100人。藤代孝七市長と一緒に、高架化された京成船橋駅から、大神宮下駅の間約1300メートルを、工事担当者からの説明を受けながら歩きました。当日は、レールウォークに先立ち、堂本暁子県知事も出席して施設見学会が行われました。



11/27~

京成本線の連続立体交差事業

上り線が高架での運転を開始

京成本線の連続立体交差事業の上り線が完成し、11月27日から、高架での運転を始めます。併せて京成船橋駅と大神宮下駅の上り線ホームも高架化されます。11月1日には、完成を待ち望んでいた地元住民や小学生を招いて、高架化された軌道上を歩く「レールウォーク」を開催しました。



地元を代表して挨拶する藤代市長

今回開通するのは、上野方面の上り線、11月27日の始発から、高架での運転を始めます(工事を行う26日(金深夜が雨天の場合は、28日(日)始発から)。高架になるのは、海神駅から船橋競馬場駅までの区間2470メートルです。これにより、区間内の踏切は下り線のみとなり、踏切の遮断時間が現在の半分程度になり、周辺道路の交通渋滞が緩和されます。

駅の利用方法が変わります

京成船橋駅の上り線の改札口は、今まで通り1階で、3階がホームとなります。階段のほか、1階と3階を結ぶエレベーターと、2階と3階を結ぶエスカレーターが設置されます。下りホームは現在のホームを利用し、仮設の連絡通路で新しい駅舎と結ばれます。

下り線の高架化は19年3月に完成

この事業は、県と市、京成電鉄が協力して取り組んでいます。上り線開通に引き続き、成田・千葉方面の下り線の工事を進め、19年3月には、高架化が完了。区間内にある16か所の踏切がなくなり、人と車の流れがスムーズになります。



新しい大神宮下駅の駅舎

問合せ
総合交通計画課
☎436-2055

取材メモ

被災地に平穏な日々を

大きな被害をもたらした新潟県中越地震。支援に向かった保健師からは「避難所にたどりついたものの、環境の変化についていけず、寝たきりになる高齢者も...」。震災は、建物や道路だけでなく、身体や心に大きな傷跡を残しました。「何も出来ない自分がもどかしかった」と涙ながらに報告する姿に、被災地に一日も早く平穏な日々が戻ることを願わずにはいられませんでした。

広報番組

広報課☎436-2015

千葉テレビ放送(UHF46チャンネル)

テレビ広報「船橋だより(再放送)」

みんなでつくる!

安全安心なまち

地域、警察、行政が一体となった船橋市の犯罪予防への取り組みをご紹介します。
11/28(日)正午~午後0時15分

テレビふなばし(CATV9チャンネル)

ふなばしCITY NEWS 毎週土更新

毎日午後0時30分~、7時30分~

11/20(土)~京成本線立体交差事業ほか

11/27(土)~子ども市議会ほか

12/4(土)~豊富地区市政懇談会ほか

消防局救急課
☎435-1191

市民の命を守るために 気管挿管のできる 救急救命士が誕生



人形を相手に気管挿管を実演する川上隊長

消防局特別救急隊の川上義和隊長が、市で初めて、気管挿管のできる救急救命士として、県の認定を受けました。気管挿管は心肺停止などの際にチューブを使って気道を確保する救命処置。3月の法改正により、従来の医師に加え、県認定の救急救命士も行えるようになったものです。救命率を向上させるため、市では、今後年間4人程度を目標に、同様の救急救命士を育てていきます。また、15人の消防職員が、自動体外式除細動器(AED)の使用法に関する専門講習を修了。これにより、消防局の全12隊で、AEDのより安全で適切な使用が可能になりました。